


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		一般社団法人 エリア・イノベーション・アライアンス				
役職		代表理事				
氏名		木下 斉	ふりがな	きのしたひとし	生年	1982/07/14
連絡先	住所		〒			
	固定電話				携帯電話	
	メールアドレス					

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p>1982年東京生まれ。1998年早稲田大学高等学院入学、在学中の2000年に全国商店街合同出資会社・株式会社商店街ネットワークの取締役社長就任。2005年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業の後、一橋大学大学院商学研究科修士課程へ進学、在学中に中心市街地活性化政策に関する経済産業研究所リサーチアシスタント、東京財団リサーチアソシエイトを務め、地域政策系の調査研究業務に従事。内閣府政策調査員として公益法人改革などについても従事。2007年より熊本城東マネジメント株式会社を皮切りに、全国各地の地域再生を目的とした事業会社への設立支援や投資を行う。2009年、全国のまち会社による事業連携・政策立案組織である一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立、代表理事就任。2015年からは都市経営に関するプロフェッショナルスクールを東北芸術工科大学、公民連携事業機構等とスタートさせ、すでに400名以上の修了生を輩出し、100以上のプロジェクトが全国で展開されている。2021年より都市経営プロフェッショナルスクール株式会社として独立法人化。同スクールBOGが中心となって認定NPO法人自治経営も発足している。</p> <p>○受賞歴 2000年 新語流行語大賞「IT革命」 2002年 日本初の社会起業家コンペティション・STYLE 優秀賞 2003年 論文「日本型まちづくりの終焉」毎日新聞社・フジタ未来経営賞 論文「変化に適応する組織化」商工総合研究所・中小企業活動本賞 2004年 早稲田大学 学生文化賞 2005年 論文「地方経済復活の鍵」商工総合研究所・中小企業懸賞論文準賞 2008年 論文「市街地商業再生に寄与する共同決済システム」パーソナルファイナンス学会懸賞論文 奨励賞 2016年 東洋経済オンライン「いいね!大賞」 2018年 書籍「凡人のための地域再生入門」尾崎行雄記念財団・号堂ブックオブザイヤー2018 地方部門大賞 2021年 書籍「まちづくり幻想」尾崎行雄記念財団・号堂ブックオブザイヤー2021 地方部門大賞</p>	
取組内容・実績等	<p>○全国各地の不動産再生をエリア単位で行い、人気のないところに多くのテナントが集まり周辺地価が上昇するまでを地元メンバーと共同出資会社を通じてプロジェクト進行する。北九州市小倉でのリノベーション事業の立ち上げ支援、愛知県春日井市勝川でのリノベーション、新築などを組み合わせた事業推進など各地で行っている。</p> <p>○公民連携事業の代表的事例である、岩手県紫波町オガールプロジェクトへの関わりを契機にして公民連携事業を推進。都市経営プロフェッショナルスクールを開校し、公民連携事業課程を通して多くの卒業生を輩出。大阪府大東市における公営住宅エリアの公民連携開発morinekiもデザイン会議委員など多角的に関わった事例は令和3年度土地活用モデル大賞など高く評価されている。</p> <p>○著作 主な著書として「まちづくり幻想」SB新書、「地元がヤバイ…と思ったら読む 凡人のための地域再生入門」ダイヤモンド社、「福岡市が地方最強の都市になった理由」PHP研究所、「地方創生大全」東洋経済新報社、「稼ぐまちが地方を変える-誰も言わなかった10の鉄則」NHK新書、「まちづくりの経営力養成講座」学陽書房がある。これら書籍は台湾、韓国、中国で翻訳されている。その他、エリア・イノベーション・レビュー、東洋経済オンライン、Voicyパーソナリティとしても積極的に情報発信を行っている。</p>	
取組分野 (テーマ)	● 観光	(川、海を利用した観光地開発、公共交通網を活用した観光開発
	● 移住・定住・関係人口	(
	● 農林水産業	(
	● 起業支援	(地域における新規ビジネスを立ち上げる支援と、物件再生を組み合わせるエリアリノベーション展開
	● まちなか再生	(衰退エリアの再生をリノベ、新築、再開発を組み合わせ、稼ぐエリアを作り出す
	● 集落再生	(
	● 環境	(
● その他	(

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
エリア・イノベーション・アライアンス	https://www.areaia.jp/
プロフェッショナルスクール	https://www.ppp-ps.net/
note	https://note.com/shoutengai
voicy	https://voicy.jp/channel/2028
4. ふるさと財団での実績	
外部専門家 活用助成	◆2010年度 茨城県常陸太田市「レインボービネガー」物語創出事業
外部専門家派遣 (短期診断)	
地域再生 セミナー	
その他	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成22年度 地域再生環境整備事業1	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiki/pdf5/1321407102548.pdf
平成22年度 地域再生環境整備事業2	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiki/pdf5/1321407104140.pdf
平成22年度 地域再生環境整備事業3	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiki/pdf5/1321407104437.pdf
6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>全国各地で高校時代より経営の視点で地域再生を行うことを徹底し、エリア・イノベーション・アライアンスの代表理事を務めております。近年では人材育成に力を入れ、都市経営プロフェッショナルスクールを通じて、全国各地で官民人材開発、それら人材とともに新規の事業開発を推進してきています。公民連携では、岩手県紫波町でのオガールプロジェクト、大阪府大東市のmorinekiプロジェクトなど全国100以上のプロジェクトが生まれています。中心市街地・商店街分野では北九州市小倉でのリノベーションまちづくりをはじめ、愛知県春日井市勝川周辺など取り組んでいます。さらに観光分野では熊本県上天草市での船舶路線、グランピングサイトの経営などに関与しています。稼ぐ地域を実現するために必要な政策、事業について推進しています。これからは稼ぐことなくして地方の自立、活性化は達成できません。</p>